

# ま え が き

月日の経つのは早いもので、当水産増殖センターが、育てる漁業の開発研究を目的として、昭和43年に開所されて以来、既に10ケ年を経過いたしました。

この10ケ年を振り返ってみますと、複雑に変化する社会状況の中で、センターにおいても様々なことが起こり、研究テーマもまた少しずつ変化して来ており、時の流れの重さを痛感いたします。

この開所10周年を記念して、何か有意義な行事を実施しようと言うことで、所内で色々話し合った結果、当所の定期刊行物である本誌第8号を、10周年記念号として、その内容の充実を図ることとなりました。

本誌第8号に載せた研究内容は、昭和52年度に実施したのですが、この中で特筆されることは、昭和50年に始まったホタテガイ異常へい死の原因が明らかにされ、その対策研究に進境が著しかったことや、初めてシロザケの海中育成放流試験に着手したことなどと思われまゝです。皆様方の御叱正、御批判を御願いたします。

また「水産増殖センター10ケ年の歩み」と題して、丁度この10ケ年間、当所の所長を勤められました津幡文隆氏に、当所の歴史と思い出を綴っていただきました。同氏の御執筆の労に対し、心から感謝申し上げます。

昭和54年3月

青森県水産増殖センター  
所長 伊 藤 進